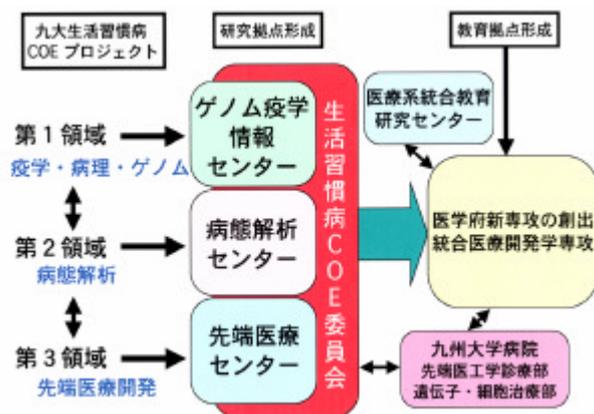


【分野名：医学系】

大 学 名	九州大学
拠点のプログラム名称	大規模コホートに基づく生活習慣病研究教育
中核となる専攻等名	医学系学府臓器機能医学専攻
拠点リーダー氏名	名和田 新

《拠点形成の概要》

血管病（脳卒中、心筋梗塞等）、糖尿病・内分泌代謝疾患、がんなどの「生活習慣病」の克服は活力ある我が国の創出のための国家的課題である。生活習慣病は複数の遺伝因子と環境因子の相互作用によって発症し、加齢に伴って増加する多因子疾患であり、地域性、食習慣、人種差などが発症に大きく影響する。従って、生活習慣病の克服には、長期間の疫学臨床データの蓄積とゲノム解析に基づき、日本人に特有の発症機序・病態を解明し、それに根ざした治療法・予防法を開発する必要がある。



九州大学には、世界的に有名な臨床疫学病理研究である「久山町研究」や日本人特有の血管病の研究、糖尿病、がん研究など、生活習慣病研究・教育の40年以上の実績がある。

本拠点では、3つの領域（第1領域：疫学・病理・ゲノム、第2領域：病態解析、第3領域：先端医療開発）を設定し、これらの領域間の双方向性連携と統合により、世界最高水準の「日本人の生活習慣病に関する先端的な研究教育拠点」を形成する。その過程で各領域に特化した専門家を育成すると同時にゲノムから集団までの研究を統合できる人材を育成する。特に、第1領域の完成型として、九州に大規模コホートを組織し、九州大学ゲノム疫学情報センターを設置、共通した生活習慣病の臨床情報データベース、及びゲノム情報データベースを構築する。